

授業科目 社会病理学

【担当教員名】 米林 喜男		対象学年	3	対象学科	社会	
		開講時期	後期	必修・選択	選択	
		単位数	2	時間数	30	
【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】 非行、犯罪、自殺、暴力をはじめ社会に存在する様々な病理的現象の実態を理解しその社会的要因を探る。						
【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】 1、社会病理現象を理解するための基本的な概念と理論を学習する。 2、犯罪、非行、自殺、暴力の実態を学習する。 3、教育病理の諸現象とその特徴を理解する。 4、家族病理の諸現象とその特徴を理解する。						
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員	
1	現代日本社会の主な社会病理現象を理解する				板書ならびに配布資料に基づく講義の受講と質疑応答	
2	社会病理学の主要な理論を学習する					
3	アミノー論と疎外論を学習する					
4	逸脱行動論と境界人論を学習する					
5	犯罪、非行、自殺、暴力に関する主要な理論を学習する					
6	不登校と中途退学の実態を知る					
7	いじめの実態を知る					
8	校内暴力の実態を知る					
9	少年非行に対する改善の方法を探る					
10	ファミリーバイオレンスについて学習する					
11	子ども虐待の実態を知る					
12	高齢者虐待の実態を知る					
13	配偶者間の暴力の実態を知る					
14	ファミリーバイオレンスに対する改善の方法を探る					
15	まとめ					
【使用図書】		＜書名＞ ＜著者名＞ ＜発行所＞ ＜発行年・価格・その他＞				
教科書 (必ず購入する書籍)		特定のものは使用しない。				
参考書		随時紹介する。				
その他の資料		必要に応じて印刷教材を配布する。				
【評価方法】 ①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する。		【履修上の留意点】 最近の若者は新聞を読まないと云われるが、本講義を選択される諸君はぜひ新聞を読み、紙上でとりあげられている非行、犯罪、自殺、暴力といった社会病理現象に関心をもってほしい。				